

# 連載「淀江プロジェクト」物語 [第六話]

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。  
第6話：常識知らず？片付けの見積もりはいくら？

父の蔵書、子どもの頃の思い出の書籍は  
いくらかで売れる？



話は遡って、2017年の9月の洋子の父の葬儀の後のこと。洋子の息子義邦が地元の古本屋さんに連絡をして来てもらい、実家に残っている書籍を売ったら、一体いくらになるのかを鑑定してもらった。

洋子の父は、読書が大好きで、若い頃から本の購入には糸目を付けなかった。壁付けの本棚以外にも家じゅう本棚だらけ。中学校の社会と英語の教員だった関係もあり、また文学や芸術にも興味があり、世界事情や各国の歴史・文学全集などを中心に本棚にはぎっしりと本が詰まっていた。子供たち（洋子と衆）のためにも離れの本棚の壁一面でも入りきらないうちの父の本を購入して、小さい頃は毎日読み聞かせをしてくれた。洋子や衆の子供たちもここにある子供向けの大量の本を読むのを楽しみにしていた。

母屋の書斎の壁一面の本棚、そして和室や書斎、父の寝室、縁側や廊下には本棚が別に9つ、洋室と離れにも壁一面の本棚があり、父が亡くなった頃には3000冊以上の本が並んでいた。

洋子は何の根拠もなく漠然と「少なくとも30万円くらいにはなるかな？」と思っていたのだが、古本屋さんから提示された金額は「3万円」。「お父さんがお金と時間を費やして集めてきた蔵書、私たちが勝手に私たちの子どもたちも楽しみに読んだ本は合わせて3万円の価値しかつかないんだね。」そんな金額にしかないのなら、今はとりあえずそのまま置いておこうか。本当に片付けが必要となるときにまた考えよう。

母屋の片付けを業者に頼むといくらかかる？

品名	品質規格	単位	数量	単価	金額
志願者入会費 (ボウリング、ゴルフ、他)		式	1	73,000	73,000
手前前着 (本服、チーフ、アソビ、他)		式	1	78,500	78,500
中継費 (搬送費、車、金庫、他)		式	1	106,000	106,000
合計金額					¥277,380-

見積書は税込みで約72万円、倉庫や母の車の置いてあったガレージ内、離れに置いてあるものも処分するとすると税込で100万円くらいになる。・・・ということだった。

洋子はびくりして、弟の衆に連絡。

「私は勝手に30万円くらいになってしまった。」

「僕もそれくらいだと思ってたよ。」

そこで、弟の奥様篤子さんが口を開く。

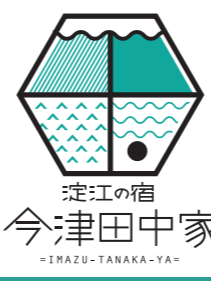
「私はよくゴミ屋敷の片付けのテレビ特集などを見ていたので、100万円くらいはかかると思っていました。」

「そうなんだねえ。片付けてそんなにかかるんだ。常識知らずだった。そんなにかかるんだら、母屋、しばらくこのままにしておく。」

「明日、サハラクミコさんという知人が大阪の面白い若者たちを連れて訪ねて来られる予定になってるんだよね。そのメンバーのうちを見てもらって片付けのことも相談してみよう。」

作者・田中洋子  
株式会社代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人の手を借りてリノベしてリターンし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語  
【第六話】



ホームページ



お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家  
〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1  
TEL : 0859-30-3889  
www.imazutanakaya.com



今後はLINEを始め各種SNSにて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。



LINE公式アカウント  
お店のポイントが貯まる！



f



Instagram icon



Twitter icon

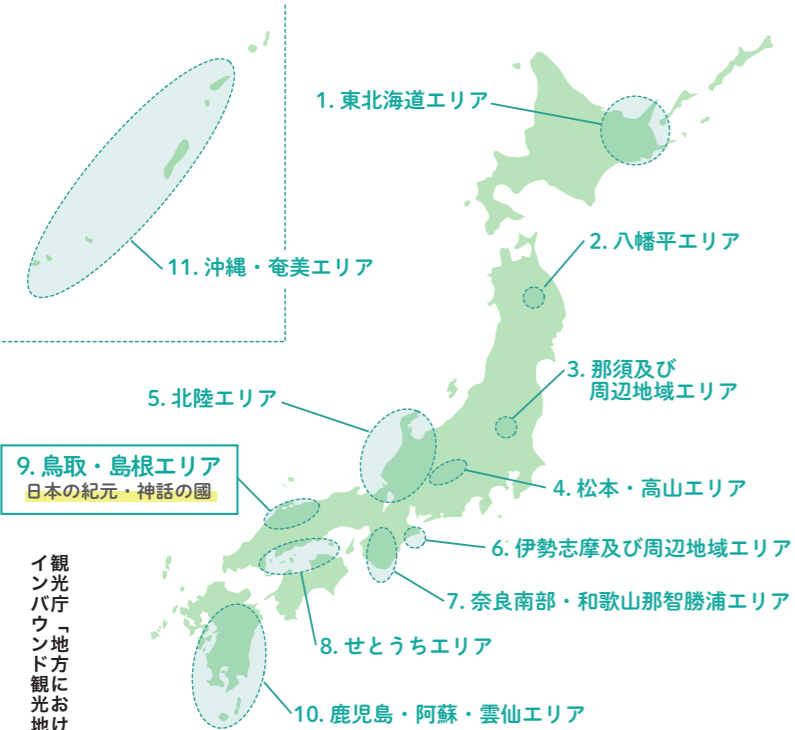


# 淀江の宿 今津田中家 瓦版

第7号

2023.10 発行

## 淀江でも始まる 「地方における高付加価値な インバウンド観光地づくり」



観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル観光地11地域」



## おせわさん OSEWA-SAN

私たちの考えた最高のおもてなしは、松江を愛する地元の人々がアクティビティを考え、みずからおもてなしをするということです。この主役となっておもてなしをするパートナーを「おせわさん」と呼んでいます。

Grid of photos and names of 'Osewa-san' staff members, including E.T's, 松江和紙てまり, 縁結び水引のん, 松浦のみこ, 山本 将之, 吉村 日出国, 石原 美和, 寺井 亨, and 西本 敦子. Includes a logo for OSEWA-SAN CENTER Tourist Information and a link to the Expe website.

※ホームページより一部抜粋

真心のこもった「おせわさん」の案内で松江の文化を紹介  
『一般社団法人Expe』は、松江市の中心地、県庁に近い殿町の『今井書店』の一階に、催し物会場を併設した事務所を構えて、旅行者と松江の文化を紹介案内する「おせわさん」とを繋ぐ活動をされています。「最高のおもてなしは、松江を愛する地元の人々がアクティビティを考え、みずからおもてなしをするということ」ということで、この主役となっておもてなしをするパートナーを「おせわさん」と呼び、「松江アクティビティ」のポータルサイトを作り、様々な体験を提供されています。

「松江アクティビティ」ポータルサイトおせわさん



2面に続く

機械での脱穀・足踏み脱穀機や唐箕を使った脱穀



日時 10月23日(月)以降 快晴が続いた後の日  
※詳しくはホームページ・SNS等でお知らせします。  
参加費 1,000円 ※中学生以下無料

当日の昼食・デザート付 / 脱穀後にもち米 or きぬむすめ いずれかのお米 1升プレゼント

機械刈りしたきぬむすめ・もち米のはで掛け手植えた田んぼの手刈りの稲刈り



日時 10月7日(土)・8日(日)・9日(月)  
10:00~12:00 or 14:00~16:00  
参加費 1,000円 ※中学生以下無料

当日の昼食・デザート付 / 脱穀後にもち米 or きぬむすめ いずれかのお米 1升プレゼント

**10月はで掛け体験募集**  
海山に囲まれた豊かな土壌を持つ田んぼで、今年もとてもありがたいで近所さん農業スペシャリストの山中さんご夫妻の力を全面的に借りて、農薬や化学肥料は不使用の「はで掛け米(天日干し米)」のはで掛け作業、脱穀作業を行います。皆で一緒に昔ながらの「はで掛け」の作業をやってみませんか？

日替わり店長カフェ紹介

すまいるびとsanin

数量限定



すまいるびとsaninのランチは「おむすびとみそ汁」。田中家さんのはでかけ米に、すまいるびとsanin仕込みのお味噌など、素材にこだわって、心を込めてお作りします。ぜひご賞味ください。カフェメニューは、オリジナル野草茶 & 甘酒ボウルとよもぎパウンドケーキ。免疫力アップのドリンクメニューとして梅酵素ジュース、パーモンド酢ジュースをご用意しています。

10月は28日土曜日 11:00~15:00 ランチ&カフェの1日のみの営業となります。ご予約お待ちしております。

- おにぎり&お味噌汁セット ¥1,000
- 甘酒ボウル&野草茶セット ¥1,000
- よもぎパウンドケーキ&野草茶セット ¥1,000
- ドリンクメニューはいずれも ¥500

※いずれのメニューにもドライ野草の足浴体験付き♡



淀江の宿今津田中家

数量限定



地元野菜たっぷりのキーマカレーやスープ・自家製黒豆のおからサラダ、自家製黒豆や梅のスイーツ & ドリンク、珈琲・ラテなどを提供します。

- 淀江の宿今津田中家 自家製ランチ ¥1,100  
※自家菜園で採れたものと淀江漁港で獲れたものを使ったランチ
- キーマカレー・スープセット ¥1,100
- ラテ (HOT・ICE) ¥550
- 黒豆スイーツ (アイスクリーム・豆花等) ¥330~
- 梅ドリンク ¥440~

「淀江の宿 今津田中家」の宿で提供している地元食材を使った朝食・江戸時代の朝食作り体験・BBQは4名以上でご予約を承ります(7時~21時)。詳細はWEBサイト等でご確認ください。



10月の日替わり店長カフェスケジュール

10/10(火)	ランチタイム 11:00 - 14:00	淀江の宿今津田中家	10/21(土)	ランチタイム 11:00 - 14:00	淀江の宿今津田中家
10/15(日)	各 9:30 ~ 14:30 ~	BisuiDaisen 見学相談会	10/24(火)	ティータイム 14:00 - 16:00	淀江の宿今津田中家
10/23(月)			10/28(土)	ランチ ティー 11:00 - 15:00	すまいるびとsanin
10/17(火)	ティータイム 14:00 - 16:00	淀江の宿今津田中家			

淀江が交流会や宿泊の会場に!

2023年4月28日、「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりに向けた観光地づくり事業」の鳥取・島根エリアのキックオフミーティングがANAホテルで開催され、その日の夜、観光庁の星明彦調整官が「淀江の宿今津田中家」に泊まってくださったことになりました。せっかくの機会なので、星さんを囲んでの夕食会をしよう...というところで、淀江の町中にある「ギャラリア大正蔵」を会場に、一般社団法人BisuiDaisenのメンバーがホストとなり、星さんをはじめ、島根の一般社団法人Expe、鳥取県庁、商工会など皆さんなど総勢40名での交流会を開催しました。



2022年9月4日大正蔵：米子日吉津商工会インバウンドモニタリングツアー交流会

「真名井ばあちゃん」のせせらぎレストラン」などを始めとする飲食店や淀江漁港の漁師さんなどにもご協力いただき、地元の食材を使った料理を提供しました。BisuiDaisenの事務局スタッフ小川さん、それや料理の料理に顔写真を付けて、食材や料理についての解説を掲示。アルコール類も地元のだわりのお酒を提供し、星さんをはじめとするゲストの皆さんにとっても喜んでいただくことが出来ました。7月には11モデル地域の方・観光庁の方・専門家の方など総勢70名が集まる合宿が開催され、大正蔵での交流会の開催など淀江がその会場の一つとなりました。次号8号では7月の合宿の様子をレポートします。

淀江の価値を高める「大正蔵」

「大正蔵」は、日本酒「長年」を作っていた酒蔵を廃業後、現オーナーの娘で、インテリアデザイナーの石原奈津子さんがメキシコで仕事をしておられるときに、メキシコ人を連れてきて、一緒にアップサイクリングにベリションをされた、酒蔵の面影が随所に残るとも素敵な空間です。小さな路地を抜けた後に広がる開放的で古いものを活用された空間、奈津子さんの独特のセンスが生かされている照明、メキシコ文化を融合させた部屋など、訪れた方は一様にこのスペースに感動されます。今年、9月15日~11月3日まで毎週金曜日の夜にBar営業を予定されていますので、ぜひ行ってみてください。

ギャラリア大正蔵  
鳥取県米子市淀江町淀江599



サイクリングで交流

大正蔵の交流会の後は、星さんには「淀江の宿今津田中家」に泊まっていたいただき、翌日は朝食後、二手に分かれてサイクリングをしました。星さんなどサイクリングにも出場されている金澤純さん(江府町でサイクル事業「RiccoCycle」を運営)や、浅田正人さん(「淀江サイクルカーニバル」の始動に関わり、商工会西部地区のサイクル事業の牽引者、淀江町で有限会社浅田商店を(経営)などと一緒には山を指す上級者コース。一般社団法人Expeの皆さんなどサイクリングを普及させていない方は、東京から移住してきてBisuiDaisenに関わってくださっている秋元大さんの深い洞察のガイドのもと、淀江の宿今津田中家のe-bike(電動自転車)での淀江周遊サイクリング。あいにくの雨で、予定を変えたりしましたが、有意義なひと時を過ごすことが出来ました。



お得な特典たくさん!  
淀江の宿今津田中家  
会員募集

年会費  
2,000円

会員特典

- 毎月1回 瓦版など印刷物の郵送
- 毎月1回 各種割引券 (飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加)
- お米1升(約1.5kg) プレゼント(きぬむすめ or もち米) ※11月以降 当宿にてお渡し



※瓦版は淀江の宿今津田中家でも配布しております。また SNS などでも瓦版情報を随時提供しますので、SNS (4面参照) もご登録ください。